



2020年1月31日

各位

上場会社名 レオン自動機株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 田代 康憲  
 (コード: 6272 東証第1部)  
 問合せ先 執行役員財務統括部長兼  
 経理部長 宮岡 正  
 (TEL. 028-665-1111)

### 通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月10日に公表しました2020年3月期の通期連結業績予想および個別業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 業績予想の修正について

(1) 2020年3月期通期業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(連結)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 29,230	百万円 3,750	百万円 3,820	百万円 2,670	円 銭 99.71
今回修正予想(B)	27,510	2,990	3,070	2,180	81.37
増減額(B-A)	▲1,720	▲760	▲750	▲490	—
増減率(%)	▲5.9	▲20.3	▲19.6	▲18.4	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	28,432	3,332	3,506	2,472	円 銭 92.31

(個別)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 20,000	百万円 3,050	百万円 3,290	百万円 2,350	円 銭 87.76
今回修正予想(B)	18,700	2,210	2,450	1,830	68.31
増減額(B-A)	▲1,300	▲840	▲840	▲520	—
増減率(%)	▲6.5	▲27.5	▲25.5	▲22.1	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	19,434	3,102	3,376	2,539	円 銭 94.82

(2) 修正の理由

[連結]

売上高は、食品加工機械製造販売事業において、日本では消費税増税、自然災害や暖冬の影響により主に食品成型機が当初計画を下回る見込みであります。またアジアでは対前年では大幅に増加する見通しですが、米中の通商問題などによる中国経済の減速により主に食品成型機、製パンライン等が当初計画したほどは増えない見込みであります。

食品製造販売事業において、北米・南米ではオレンジペーカーで大手顧客の売上減少分を新規顧客や既存顧客への売上増加でカバーできない見込みであります。

以上の主な理由により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も当初計画を下回る見込みであります。

[個別]

食品加工機械製造販売事業において連結と同様の理由により、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が当初計画を下回る見込みであります。

## 2. 配当予想の修正について

(1) 2020年3月期配当予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2019年5月10日)	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 30.00
今回修正予想	—	10.00	25.00
当期実績	15.00	—	—
前期実績 (2019年3月期)	14.00	14.00	28.00

### (2) 修正の理由

当社は、利益配分の基本方針として、連結配当性向の目標を30%とし、継続的かつ安定的な配当を行うこととしております。

上記の業績予想の下方修正を踏まえ、期末配当予想を前回予想に対し5円減配の10円とし、年間配当25円（中間配当15円、期末配当10円）に修正させていただきます。

※上記の業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績及び配当等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上